

## 演習課題1 自己評価書（実績報告書）のチェック

※ ここでは、目標・計画に対する実績報告や国立大学法人評価の年度評価に係る自己評価書（実績報告書）の作成場面を想定している。本来は「中期目標」「中期計画」「年度計画」のすべてを記載する必要があるが、ここでは簡単のため、年度計画とその実施状況のみ記している。

計画1 学生を海外の大学に派遣し、国際感覚を身につけさせる。

（計画の実施状況）

トロント第三国際文化大学（カナダ）への語学研修プログラム（約2週間）へ、定員となる100名の学生を派遣した。事後アンケートによると、82%の学生が「語学力が向上した」と回答しており、国際感覚が養われた。

計画2 科研費などの外部資金の獲得額を増加させる。

（計画の実施状況）

昨年度に引き続き URA を3人雇用し、研究推進課と URA が連携して外部資金獲得に向けた戦略を継続的に検討するとともに、7月に企業を対象としたシーズ展、9月に科研費学内説明会を各学部で開催した。URAによる外部資金申請支援を行った結果、外部資金獲得額が昨年度より2,500万円増加した。

計画3 大学の経費を抑制する。

(計画の実施状況)

随意契約から競争入札による契約への切り替え等を推進し、経費節減を図った。

計画4 大学広報を積極的に推進する。

(計画の実施状況)

「評大だより」を発行し、本学の最新の教育研究上の取組や成果を積極的にアピールした。また、SNSの媒体や発信頻度を増やした結果、フォロワー数が大幅に増加し、当初計画を上回って実施した。